

# 那珂市の概況

那珂市 企画課

平成19年10月

# 目次

目次	2
1 総説	
1 沿革	3
2 市のあゆみ	5
3 市の概況	1 4
4 市のデータ	1 8
5 公共施設・社会施設の概要	2 1
2 人口	
1 人口・世帯数の推移	2 3
2 人口・世帯数（大字別）	2 4
3 年齢別人口（5歳階級）	2 5
4 年齢別人口（大字別、3区分）	2 6
5 家族の型別世帯数・人員	2 7
6 産業分類別就業人口（15歳以上）	2 8
7 住居種類・住宅所有関係別 人口・世帯数及び延べ面積	2 9
8 外国人登録者数	3 0
9 自然動態（出生・死亡）	3 1
10 社会動態（転入・転出）地域別	3 2
11 社会動態（転入・転出）年齢別	3 3
12 年齢階級別配偶関係	3 4

## 1-1 那珂市の沿革

わが那珂市の先人達が住み始めたであろう時代は、出土している遺物遺跡から遠く縄文式文化時代の頃とされている。那珂川、久慈川に面しているため、自然の中で動植物を中心に狩猟、採集といった生活からしだいに稲作農耕に転換していった。そのため、那珂市全体でも多くの古墳や土器が発見されている。

旧那珂町各地区は、上代から中世まで久慈郡、那珂郡にわかれてなおかつ、<sup>きざき</sup>木前郷、<sup>かみさき</sup>神前郷、倭文郷は久慈郡に、武田郷と河内郷、大井郷は那珂郡に入っていた。

室町末期の百年にわたる戦国の世を統一した豊臣秀吉は、文禄年間に全国に検地を行い、耕地を実測して面積を詳しく調べた。その時に郡界を変更して久慈川以北を久慈郡、那珂川以北を那珂郡とした。

明治11年、「郡区町村編成法」の公布に基づき、菅谷上宿の不動院に那珂郡役所の仮事務所が設置され、初代郡長には中村貞幹が任命された。以後郡役所は庁舎を新築し、那珂郡行政の中心となった。

明治22年4月1日に町村の合併があり、堤、杉、横堀、向山、本米崎が合併して神崎村、額田は額田村、菅谷と福田は菅谷村に、後台、中台、東木倉、西木倉、豊喰は五台村と、鴻巣、飯田、戸崎は芳野村、戸村、田崎、大内、下江戸は戸多村に、北酒出、南酒出、門部、鹿島は木崎村となった。明治32年4月には、水戸鉄道が水戸・太田間に開通し、さらに大正10年12月から昭和2年3月の間に水郡線が太子町まで開通した。

昭和17年9月菅谷村町制施行により菅谷町が誕生、昭和30年3月には、全国的な市町村合併が行われるなか、わが那珂町も、菅谷町、神崎村、額田村、木崎村、芳野村、戸多村、五台村の1町6か村が合併し旧那珂町の前進が出来上がった。菅谷は町行政の中心となり一段と活気を増し、バスは町内を縦横に走り、交通の便は年と共に良くなり菅谷・後台は水戸の郊外地の観を呈し、豊かな生活を楽しむようになった。

その後都市化が進み平成7年国勢調査では人口4万5千人を超える県北地方を代表す

る町へと発展した。県北の玄関口である常磐自動車道那珂インターチェンジが昭和59年に開通し、近年では国道349号周辺などの市街地の整備が進められている。

一方旧瓜連町の瓜はアイヌ語で丘を意味し、地形が町名の語源となったといわれている。瓜連地内の瓜連、二ツ堂、十林寺、大塚、鹿島などの遺跡から、弥生式土器が陸田造成工事やごぼう収穫に伴って出土しており、また紀元前3世紀後半頃より稲作文化の影響を受け、久慈川に面した瓜連、二ツ堂、十林寺、大塚、鹿島地区の谷津田を開拓して水稲耕作が始まったと考えられる。

また、明治11年の「郡区町村編制法」の公布に基づき、瓜連地方の属する那珂郡役所は菅谷村に置かれた。さらに、明治21年4月、市制町村制が公布され瓜連村（瓜連、古徳、中里）と、静村（静、下大賀、下村田、上村田、石沢）が誕生した。また、瓜連村は従来の町村名を襲用したもの、静村は著名な神社仏閣の名称から命名され、新町村名はおおむね住民の希望により命名された。

その後、昭和9年6月10日町制施行により、瓜連村が瓜連町に、さらに昭和30年3月31日町村合併により静村のうち静、下大賀が合併して旧瓜連町が誕生した。また昭和32年7月木崎村の一部、鹿島地区が境界変更により瓜連町に編入され現在の瓜連町が誕生した。

昭和50年代には、通勤など地理的条件も便利な平野台団地が造成され、昭和59年から分譲が開始された。昭和60年国勢調査で人口7,152人、世帯数1,848戸だったものが、平成7年国勢調査では人口9,174人、世帯数2,565戸と急激に増加した。久慈川沿いに広がる低地は、水田地帯となり、町の基幹産業である農業の生産基盤となっている。三方を樹林に囲まれた古徳沼にはシベリアからたくさんのオオハクチョウが飛来し多くの人の心を癒し、目を楽しませてくれる。

平成17年1月21日に那珂町と瓜連町が合併し、人口56,726人、世帯数19,452戸、面積97.80 km<sup>2</sup>を有する県北拠点都市が誕生した。

## 1-2 市政のあゆみ

西暦	年	月日	おもなできごと
	明治5年		瓜連村宿に瓜連小学校、下大賀村柳沢に下大賀小学校建設
	明治6年		額田小学校、菅谷小学校（10.25）、芳野小学校、古徳小学校開校 額田郵便局開局
	明治10年		静村静地区で煙草栽培開始
	明治11年		菅谷村に那珂郡役所設置
	明治21年		瓜連村（瓜連、古徳、中里）、静村（静、下大賀、下村田、上村田、石沢）誕生
	明治22年		神崎村、額田村、菅谷村、五台村、戸多村、芳野村、木崎村誕生
	明治31年		根本正（東木倉）衆議院議員に初当選
1911	明治44年		額田郵便局に電信電話設置、開通式挙行
1913	大正2年		菅谷村に那珂地方初の電灯導入
1934	昭和9年		水郡線全線開通 瓜連町誕生
1935	昭和10年		各村の尋常小学校等に青年学校設置
1941	昭和16年		小学校が国民学校に
1942	昭和17年		菅谷村、町制施行により菅谷町に
1947	昭和22年		各地区に新制中学校開校
1950	昭和25年		芳野診療所開設 瓜連小学校で県下に先駆けて週2日のパン給食開始
1954	昭和29年		茨城県町村合併促進審議会が町村合併計画試案提示
1955	昭和30年	3/31	那珂町誕生(菅谷町、神崎、額田、五台、戸多、芳野、木崎村)、庁舎は旧菅谷町役場に 初代那珂町長に寺門治平氏、収入役に鈴木章弘氏、教育長に中澤亀松氏 瓜連町に静村の一部合併（静、下大賀） 初代瓜連町長に岩上二郎氏
1956	昭和31年		第1回那珂町成人式開催
		3/23	那珂町議会議員30名誕生、議長平野重満氏、副議長寺門為藏氏
		5/12	那珂町観光協会設立
		8/5	那珂町体育祭開催
		9/20	那珂町役場新庁舎に移転
		11/23	那珂町総合農業祭開催 那珂町公営住宅建設、107戸に 瓜連町新町村建設委員会発足 瓜連町行政区割変更、新区長制度採用 簡易公衆電話が瓜連駅前および宝月堂に新設
1957	昭和32年	5/24	第1回那珂町青年幹部講習会開催（太田西山研修所）
		7/1	鹿島の一部瓜連町に編入
		10/1	国民健康保険那珂町全町実施
		11/22	那珂町産業文化祭開催
1958	昭和33年		久慈川栄橋竣工、栄橋祝賀行事花火により常福寺本堂と庫裏焼失
1959	昭和34年	2/1	那珂町保育所開所
		5月	第2代那珂町長に宮本雅二氏 那珂町章決定 有線放送電話瓜連町に開設 第2代瓜連町長に中井川儀平氏 瓜連町出身岩上二郎氏が知事に当選
1960	昭和35年	4/1	木崎小学校新校舎完成 公会堂落成 有線放送、戸多、芳野、木崎地区で開始 瓜連町役場庁舎改築（旧役場）
1961	昭和36年		戸多に診療所開設 笠松工場誘致が進み26社が決定 瓜連小学校で火災、第三号校舎一棟全焼

西暦	年	月日	おもなできごと
1962	昭和37年	4/1	大宮町他3町立清掃事務組合設立 那珂町役場機構改革実施、6箇所の出張所廃止 第1回八重桜まつりが常福寺境内で開催 生天目正氏が瓜連町長に就任
1963	昭和38年	1/30 8/10 10/22	旧町村8農協合併により那珂町農協誕生 瓜連広報「桜城」（おうじょう）創刊号発行 統合瓜連小学校建設起工式 有線放送那珂町全町実施 第3代那珂町長に寺門治平氏（第2次） 那珂町季節保育所を4か所開所 那珂町納税優良町7年連続受賞
1964	昭和39年	1/1 7/15 11/14 12/1	瓜連町章・町旗制定・発表 大洗町に海の家開設（那珂町） 瓜連町制施行30周年記念行事開催 那珂町常備消防部開設 那珂町常備消防開設 那珂町立第一中学校、校舎完成 瓜連町地積調査開始 瓜連町寿大学開校
1965	昭和40年	5/1 7/20	統合瓜連小学校落成式（瓜連小、静小）、給食センター完成 阿字ヶ浦に海の家を開設（那珂町） 那珂町立第一幼稚園開設 農薬空中散布、那珂町全町で実施 那珂町青少年相談員設置
1966	昭和41年	6/22	瓜連町でヘリコプター農薬空中散布実施 那珂学校給食センター建設着工 瓜連町長に生天目正氏（第2次） 国際保護鳥オオハクチョウが古徳沼に初飛来
1967	昭和42年	2/25 4/1 4月 6/16 7/9 11/10	瓜連中学校体育館竣工式 那珂学校給食センター業務開始 静峰ふるさと公園造成着手 瓜連町交通安全推進協議会設立 大洗町に海の家開設（瓜連町） 那珂町住民基本台帳制度実施により窓口一本化 那珂町立第二幼稚園開設 那珂町消防本部、消防署設置 那珂町長に笹島榮次氏（第4代） 那珂町立第二中学校、校舎完成
1968	昭和43年	1月 8/13 8/15 10/23 10月 11/23 12/1	静駅前町営住宅入居開始 瓜連町営プール利用開始 「大助まつり」9年ぶり復活 瓜連町で誕生証書・金婚証書の贈呈制度創設 下大賀季節保育所開設 新うりづら音頭・小唄発表（明治100年記念） 那珂町消防本部、救急業務開始 那珂町スポーツ少年団を那珂町体育協会の中に設置 県立水戸農業高等学校移転開校
1969	昭和44年	5/9 5/10 7/1 9/14	常陸宮同妃両殿下、ナザレ園を施設訪問 常陸宮同妃両殿下を迎え「鳥獣センター」開所 瓜連町常備消防開設 瓜連町長に生天目正氏（第3次） 那珂町立第三中学校、校舎完成

西暦	年	月日	おもなできごと
			電話、ダイヤル通話が那珂町で開始 那珂・瓜連地区消防事務組合発足 那珂町心配ごと相談所開設 瓜連町心配ごと相談所開設 那珂町立第三幼稚園開設 瓜連町米の減反政策開始 瓜連町善意銀行開設
1970	昭和45年	4/10	本米崎幼稚園完成
		9/14	菅谷小跡に「老人いこいの家」が開所 第1回体力づくり歩く会が体協主催で開催 瓜連町長に生天目正氏（第3期目） 瓜連グラウンド完成
1971	昭和46年	1/27	第1回瓜連町婦人模擬議会開催
		4/19	那珂町長に笹島榮次氏（第2次）
		7/7	那珂町営プール開所式
		9/18	敬老ヘリコプター遊覧瓜連町で実施 那珂町社会福祉協議会「善意銀行」スタート 第1次瓜連町総合計画開始
1972	昭和47年	1/17	横堀小学校・横堀幼稚園竣工
		1/18	戸多小学校・戸多幼稚園竣工
		9/29	瓜連中央公民館竣工式（2か年事業）
		11/15	初の「那珂町民号列車」実施
		11/23	瓜連町芸術文化祭開催
		12/1	瓜連町都市計画区域指定・制限開始
		12/15	本米崎に簡易水道竣工
1973	昭和48年	3/3	五台小、五台幼稚園竣工式
		3/15	那珂町土地開発公社発足
		7/30	瓜連町土地開発公社発足
		9月	マイクロバス購入（瓜連町）
		11/1	五台に水道浄水場完成、五台・菅谷地区に給水開始 田園都市建設事業（3か年）が完了し、玉川・鹿島の道路が整備される
1974	昭和49年	3/26	芳野小学校竣工式
		6/1	消防署瓜連分署に救急車を配備、救急業務開始
		6/29	ねたきり老人移動入浴巡回訪問サービス開始（瓜連町）
		7/30	瓜連町全地区の地積調査完成式典
		10/20	「第29回国民体育大会」笠松で開催、両陛下を迎えて開会式
		12/24	国土利用計画法施行 額田小学校完成 瓜連中学校永久校舎完成 瓜連町長に生天目正氏（第4期目）
1975	昭和50年	1/26	第1回瓜連町新春マラソン大会開催
		2/21	静にごみ処理施設完成式典
		5月	寝たきり老人の入浴車「さわやか号」登場（那珂町）
		6/1	那珂町史編纂開始
		7/24	堀の内館跡発掘くわ入れ式
		11/22	瓜連町名誉町民条例制定、岩上二郎氏が名誉町民受賞
		11/22	第1回瓜連町民祭開催（それまでの芸術文化祭） 那珂町長に笹島榮次氏（第3次）
1976	昭和51年	1/7	瓜連町で初の町民号実施
		5/22	天皇・皇后両陛下が大字戸の県林業試験場に行啓
		5/31	社会福祉精神を養う目的として学校菜園（さつまいも栽培）実施（瓜連町）
		9/1	瓜連町役場が本庁者と分庁舎（旧農協地内）に分かれる

西暦	年	月日	おもなできごと
			那珂町民相談室開設 菅谷・額田幼稚園完成 那珂東部農業共済事務組合合併
1977	昭和52年	1/1	瓜連町冠婚葬祭簡素化推進協議会による事業開始
		2/9	第2回瓜連町民号が汽車で実施（成田山、500人参加）
		4/1	青少年育成瓜連町民会議発足
		4/11	額田保育所開所
		4/29	瓜連町八重桜まつり観光客が1日間3万人を超える
		6/14	23年ぶりにヒョウ害（那珂町損害額推定2億1千万円）
		8/20	額田大宮遺跡を発掘 額田の山車が57年ぶりに再現される 芳野幼稚園完成 大宮地方環境整備組合に美和村・緒川村加入
1978	昭和53年	4/1	国道349号バイパス一部開通
		4/7	春の交通安全運動のメイン行事として那珂町初の歩行者天国実施
		7月	干ばつによる農作物被害10億円上回る（那珂町） 芳野幼稚園完成 瓜連町長に生天目正氏（5期目） 瓜連町上水道建設事業を3か年継続事業で着工
1979	昭和54年	2/19	県下市町村にさきがけ、ランドセル等及び傷害保険が小学校入学児童に贈呈（瓜連町）
		3/30	菅谷西小学校・菅谷西幼稚園完成
		4/16	那珂町長に笹島榮次氏（第4次）
		5/27	那珂第三中が全日本学校環境緑化コンクールで特選校に
		7/25	古徳ため池改修工事開始
		10/1	「核融合研究所」向山に決定
		12月	瓜連町基本構想完成 瓜連町少年スキー教室開催 瓜連町史編纂開始（昭和61年発行）
1980	昭和55年	3/20	静峰オリエンテーリング大会が瓜連町教育委員会主催で開催
		5/10	那珂・瓜連消防本部新庁舎で業務開始
		8月	大型福祉バス導入（那珂町）
		8/24	第1回瓜連よいとこ祭り開催（新町施行25周年記念）
		11/3	那珂町民憲章制定
		11/3	那珂町制施行25周年記念事業開催
1981	昭和56年	3/30	瓜連町全町に上水道が通水
		4/22	瓜連町営体育館竣工式
		4/29	那珂町民の歌、音頭発表会
		4/29	静峰八重桜まつりシーズン観光客延べ35万人に
		4/30	茨城県植物園開園
		8/15	第1回「なかまつり」開催 消防署瓜連分署が西消防署に 第2次瓜連町総合計画開始 八重桜を瓜連町の花に制定
1982	昭和57年	3/1	神埼グラウンド完成
		5/1	福ヶ平霊園分譲開始
		9/1	核融合研究所へサッチャー首相訪問
		11/1	木崎浄水場給水開始 瓜連町長に生天目正氏（第6期目） 1月から瓜連町医師会で休日診療実施 瓜連上地区のムクロジが町指定文化財第1号に指定
1983	昭和58年	1/27	茨城観光100選に瓜連町内の3か所が選定
		2/17	那珂町長に浅川泰郷氏（第8代）

西暦	年	月日	おもなできごと
		3/1	広域農道バードライン全線開通
		4/18	みの内土地区画整理事業着工
		8/1	宮の池公園オープン
			瓜連町議会議員定数削減条例制定
			平野台団地造成工事開始
			水郡線瓜連駅無人化実施
			那珂町公共下水道事業着手
1984	昭和59年	3/27	常磐自動車道千代田石岡IC～那珂IC間開通
		4/1	第2次瓜連町基本計画スタート（昭和59年から平成元年）
		4/15	那珂町中央公民館開館
		5/5	額田南郷で古代クジラの化石」発見
		6/27	福田、孫目線全線開通
		8/6	那珂町人口4万人に
		8/26	平野台団地分譲開始
1985	昭和60年	2/20	常磐自動車道那珂IC～日立南太田ICまで供用開始
		4/6	県立那珂高等学校第1期生誕生
		8/20	瓜連町役場新庁舎起工式
		11/9	那珂町制施行30周年記念式典
		11/9	那珂町の「花、木、鳥」制定
			瓜連町地域づくり委員会が全地区に組織
1986	昭和61年	4/23	那珂町立第四中学校校舎竣工
		4/29	門部地区で町初の「門部第五区農村集落センター完成
		5/20	瓜連町役場新庁舎完成
		6/10	八重桜を瓜連町の木、白鳥を町の鳥に制定・発表
		6/10	瓜連町民憲章制定・発表
		7/20	「粗大ゴミの日」制定（那珂町）
		8/5	台風10号による千代橋の一部流失
		9/16	瓜連町長に生天目正氏（7期目）
		9/25	皇太子殿下来訪（原研那珂研究所をご視察）
			瓜連町あいさつ通りができる
1987	昭和62年	1/27	那珂町長に浅川泰郷氏（第2次）
		3/31	杉核融合線開通
		4/6	那珂町ミニ・シルバー人材センター設立
		4/8	瓜連中学校で外国人講師による英語指導開始
		4/24	菅谷東小学校校舎・4中、屋内運動場・柔剣道場合同竣工式
			平野地区を1区・2区・3区に制定
1988	昭和63年	8/14	第1回うりづら夏祭りが、商工会主催で開催
			瓜連小学校が体力づくり研究実践校に指定
1989	平成元年	1/1	静神社と古徳沼が茨城自然100選に選定される
		2/28	新千代橋開通
		4/1	那珂町公共下水道供用開始
		4/28	木崎小学校竣工
		8/24	那珂町役場新庁舎落成記念式典
		9/4	那珂町役場新庁舎業務開始
		10/2	瓜連町住民基本台帳の電算化開始
		10/20	新庁舎へバス運行（水戸駅～那珂町役場）
			那珂町住民基本台帳オンライン化
			瓜連町公共下水道に着手
			下玉川橋開通
1990	平成2年	3月	日本のさくら名所100選に静峰ふるさと公園の八重桜が選定される
		5/8	新木崎橋完成
		6/18	本米崎小学校完成

西暦	年	月日	おもなできごと
		10/16	環境センター竣工式典
		10/29	国際親善姉妹都市調印式（アメリカ・オークリッジ市） 西消防署の新庁舎落成 瓜連町長に先崎千尋氏 那珂町農業集落排水事業に着手
1991	平成3年	2/14	那珂町長に浅川泰郷氏（第3次）
		3月	下菅谷駅構内にステーションライブラリー完成
		4/23	瓜連町公共下水道供用開始
		6/8	生天目正氏が瓜連町名誉町民受賞、祝賀会開催 那珂町高齢者福祉事業団発足 第3次瓜連町総合計画開始
1992	平成4年	4/23	静峰ふるさと公園竣工式
		5/28	瓜連小学校木造校舎、体育館竣工式
		8/19	中学生の海外派遣事業（シアトル）を瓜連町青少年国際ふれあい事業で実施
1993	平成5年	1/13	那珂町総合福祉センター開館
		1/19	1人暮らし老人用緊急通報システム開通
		4/30	新瓜連町商工会館竣工式
		6/29	菅谷保育所移転竣工式 静駅前町営住宅建設開始
1994	平成6年	3/4	戸崎地区農業集落排水処理施設竣工式
		3/28	那珂町学校給食センター移転竣工式
		4/1	那珂町情報公開制度スタート
		4/4	消防緊急通信指令システム可動
		4/26	那珂総合公園竣工記念式典、同時に歴史民俗資料館開館
		6/22	平野杉本線一部開通式典
		6/27	静駅前住宅建替え開始
		7/1	可燃ごみ指定袋による収集那珂町全町実施
		7/25	第1回なかひまわりフェスティバル開催
		9/1	瓜連駅に駐輪場完成、利用開始
		9/16	瓜連町長に関谷哲生氏
		11/1	茨城県植物園に熱帯植物館開館
1995	平成7年	2/13	那珂町長に小宅近昭氏（第11代）
		3/23	グラウンドゴルフ大会が、瓜連町社会福祉協議会主催で開催
		7/24	瓜連町役場分庁舎完成記念式典
		7/30	第2回なかひまわりフェスティバル
		11/13	デイサービスセンター「さくら」完工式
		11/18	那珂町制施行40周年記念フェスティバル
		11/19	那珂町町制施行40周年記念式典
		12/3	瓜連町制施行40周年記念式典
1996	平成8年	3/4	瓜連町ミニシルバーセンター設立
		4/23	西木倉地区農業集落排水処理施設竣工式典
		4/26	ふれあいセンターよしの落成式典
		5/3	国際友情の鐘除幕式（オークリッジ市）
		5/19	「NHKのど自慢」那珂総合公園アリーナで開催
		8/1	菅谷学童保育所開所式
		8/3	なかなか塾開塾
		10/1	瓜連町余暇活用施設「しどりの里」オープン
1997	平成9年	1/14	総合センターらぼーる建設着工
		2/4	瓜連町営プール建設開始（安全祈願祭）
		2/25	女性ネットワークなか設立総会
		11/23	文化のまちづくり事業で「うりづら秋の陣」開催
		11/19	瓜連町営プール竣工式

西暦	年	月日	おもなできごと
			那珂八景の決定
			那珂西部工業団地4社に分譲終了
1998	平成10年	3月	幸久橋開通
		3/26	常陸鴻巣ふれあい駅舎完成
		4/4	芳野学童保育所オープン
		4/28	茨城県きこ博物館開館
		5/1	総合センターらぼーるオープン
		5/28	那珂町商工会が旧那珂郵便局庁舎に移転
		9/7	瓜連町長に関谷哲生氏（2期目）
		11/3	第1回なかいきいきフェスタが総合公園で開催
		12/22	瓜連町福祉循環バス運行開始
			那珂町子育て支援センター開設
1999	平成11年	2/16	那珂町長に小宅近昭氏（第2次）
		3/15	地域振興券交付開始
		9/19	「曲がり屋」移築復元完成
		9/30	（株）JCO東海事業所で国内初の臨界事故発生
			静駅前町営住宅70戸完成
2000	平成12年	2/5	那珂町で戸籍事務にコンピュータを導入
		3/24	瓜連学校給食センター竣工式典
		3/25	那珂町総合保険福祉センター「ひだまり」開館
		4/1	那珂町介護保険制度スタート
		8/4	那珂町中学生議会開催
		9/30	原子力防災訓練実施（那珂町）
		11/3	第1回那珂町文化祭開催
		11/27	那珂町都市計画マスタープラン策定
			那珂町エンゼルプラン策定
			防災行政無線戸別受信機設置開始
			那珂町制施行45周年記念式典
2001	平成13年	2/1	瓜連町ホームページ開設
		4/1	那珂瓜連聖苑業務開始
		4/1	那珂町で防災行政無線一部開局
		4/8	菅谷西学童保育所開所
		4/8	ふれあい街道多目的広場竣工、直売所「とんがりはっと」オープン
		6/29	劇団「たっつあい」全国表彰受賞
		7/22	額田・菅谷学童保育所開所
		8/13	夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会（於）那珂総合公園多目的グラウンド
		10/1	瓜連町情報公開制度開始
		10/6	根本正誕生150周年記念式典開催
		10/27	瓜連町総合防災訓練実施
		11/5	那珂町役場の組織新体制でスタート
			防災業務無線の戸別受信機全世帯・全事業所への設置終了
			しどりの里利用者25万人達成
			環境放射線測定局を設置
			仮称「ふれあいの杜公園」建設開始
			瓜連町小学生議会開催
2002	平成14年	4/1	第4次瓜連町総合計画開始
		5/5	しどりの里利用者30万人達成
		5/13	笠松運動公園に屋内プール兼アイススケート場オープン
		5/29	那珂町ITER国内候補地ならず「青森県六ヶ所村」に決定
		7/20	五台学童保育所開所
		8/1	平成14年度全国高校総体開会式に皇太子同妃両殿下ご来訪（於）笠松運動公園
		8/5	住民基本台帳ネットワークシステム開催

西暦	年	月日	おもなできごと
		8/31	「なかひまわりフェスティバル2002」開催
		8月	瓜連小学校改築工事開始
		9/6	瓜連町長に関谷哲生氏（3期目）
		12/10	公園墓地瓜連富士霊園販売開始 県道那珂港那珂線開通
2003	平成15年	1/4	那珂町・瓜連町合併検討協議会発足
		2/13	那珂町長に小宅近昭氏（第3期）
		2/27	水郡線下大賀陸橋開通
		8/1	那珂町個人情報保護条例制定
		8/25	住民基本台帳カード（ICカード）交付開始（2次稼動）
		8/30	「なかひまわりフェスティバル」開催
		9/11	合併の方式が編入合併で合意、合併検討協議会終了
		10/1	「那珂町・瓜連町合併協議会」設置
		10/1	ごだい保育園開園
		10/1	いばらきスポーツ施設予約システム導入
		11/30	横堀学童保育所開所
		11/13	ふれあいの杜公園竣工式典
		12/18	瓜連小学校校舎改築竣工式
		12月	瓜連富士霊園第二期整備着工 菅谷・市毛線が開通 横手市スポーツ少年団交流試合（那珂総合公園） 那珂町イントラネット稼動 那珂二中吹奏楽部、第9回東関東吹奏楽コンクールで銀賞受賞 瓜連町認定農業者等連絡会発足
2004	平成16年	1/29	那珂町公的個人認証サービス開始
		3/27	本米崎幼稚園閉園、34年の歴史に幕
		4/21	新市の名称、那珂市で合意
		5/26	合併の期日、平成17年1月21日に決定
		7/12	那珂町電子申請・届出サービス開始
		7/12	那珂町・瓜連町合併協定調印式
		8/7	瓜連町で戸籍事務にコンピュータを導入
		8/28	「なかひまわりフェスティバル」開催
		9/12	那珂二中吹奏楽部東関東吹奏楽コンクールで銅賞
		10/22	横手市と友好都市盟約を締結
		11/27	新町施行50周年記念式典と合併による瓜連町閉町式典開催
		12/18	下大賀コミュニティセンター竣工式 那珂町地域女性団体連絡会40周年記念式典 瓜連駅前広場整備工事着手
2005	平成17年	1/20	瓜連町役場閉庁式典開催
		1/21	那珂町・瓜連町合併により、新市「那珂市」誕生 人口56,726人、世帯数19,452世帯、面積97.8k㎡
		3/6	第1回那珂市議会定例会開催
		4/12	ふれあいセンターよこぼりオープン
		4月	結核対策推進優良市町村として表彰される（瓜連町）
		7/23	第39回全日本高等学校馬術競技大会開催、秋篠宮同妃両殿下ご来訪（於）水戸農業高校
		8/27	第10回なかひまわりフェスティバル開催
		9/30	茨城県原子力総合防災訓練が、県はじめ関係5市村主催により実施される
		11月	那珂市第1回文化祭
		11月	那珂市行政改革大綱策定
2006	平成18年	1月	那珂市誕生1周年記念式典
		3月	瓜連駅の自由通路及び橋上駅舎が完成
		4月	那珂市地域包括支援センター開設

西暦	年	月日	おもなできごと
		6月	那珂市の花・木・鳥決定 市の花 ひまわり、市の木 八重桜、市の鳥 白鳥
		7月	那珂市誕生1周年記念「NHK福祉ネットワーク、公開すこやか長寿」公開録画
		9月	田崎地区で市内初となる集落営農組織が設立（認定は11月） 中里区で市内初となる自主防災組織が誕生
		10月	市立図書館がオープン
		11月	余暇活用施設「しどりの里」が「しどりの湯保養センター」に名称を改め再開
2007	平成19年	1月	小宅近昭氏が市長2期目スタート（旧那珂町から通算4期目）
		2月	関谷哲生市特別参与が退任
		4月	那珂市副市長に寺門義一氏着任

### 1-3 那珂市の概況

#### 《位置・地勢》

那珂市は、東京から北東へ約100km余り、茨城県の中央よりやや北よりに位置し、東側は原子力の東海村、工業都市の日立市とひたちなか市に、南側は県都水戸市に、西側は城里町、北側は常陸大宮市と常陸太田市にそれぞれ接しています。

那珂市の北側には久慈川が西から東へ、西側には那珂川が北西から南東へと流れています。那珂市の地形は、この両一級河川の沿岸に広がった広大な水田地帯と、中央に広がった那珂台地からなっています。



#### 《交通》

市の中央部を常磐自動車道が南北にはしり、インターチェンジが市のほぼ中心に位置しています。那珂インターは、東京方面へのアクセスに利用されるほか、奥久慈地方などの県北山間地域とひたちなか市や東海村の県北臨海地域へのアクセスポイントとしての機能を果たしています。また、市内には高速バスの停留所が数箇所あり、那珂インター経由で東京都上野駅や新宿駅を結びます。

県都である水戸市と結ぶ一般国道としては、市をほぼ南北に縦断する国道6号、34号、118号があります。

鉄道は、水戸市と常陸太田市・郡山市を結ぶJR水郡線があり、市内には上菅谷駅など9つの駅があります。

東京までの所要時間は、常磐自動車道を利用した場合、約1時間30分です。鉄道利用の場合は、JR上菅谷駅から、水戸駅で特急フレッシュひたち、スーパーひたちなどに乗り換えると上野まで約2時間です。



#### 《産業》

##### - 農業

平坦な那珂台地の畑作地帯と那珂川・久慈川沿岸の水田地帯に拓けた農地の総面積は約2,

540ヘクタール、農家戸数は約3,280戸です。主な生産物は、米、ごぼう、ばれいしょ、さつまいも、麦等です。

#### **- 工業**

平成7年に分譲を開始した那珂西部工業団地では平成12年に4社が操業を開始し、現在は5社が操業し、最先端の技術を用いた電気電子部品・製品製造が行われています。

また、笠松工業団地には、金属製品、機械部品、化学製品など様々な種類の製造事業所が立ち並びます。また市内には高度な技術を持った製造事業所も点在し、近隣市町村の大手製造事業所からの下請けを行っている事業所も多数あります。

那珂市全体での製造品目別出荷額は電子部品・デバイスが4割近くを占め、ついで一般機械、金属製品が多く出荷されています。

#### **- 商業**

近年国道349号沿いに市外資本による大・中型店が相次いで出店したことにより、市民の利便性が向上しました。現在、上菅谷駅周辺と主要地方道瓜連馬渡線沿いの地元商店街をいかに活性化するかが課題となっています。

那珂市には500以上の商店があり、飲食料品を扱う事業所が約60事業所と一番多く、続いて、自動車販売、ガソリンスタンドなどが多く存在します。

#### **- 研究機関**

那珂市は原子力の町、東海村に接しています。また、向山には独立行政法人日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所があり、世界でも最先端の実験装置を備え、核融合エネルギーの実現を目指し研究・開発に取り組んでいます。

### **《祭り》**

#### **- なかひまわりフェスティバル**

毎年8月下旬に那珂総合公園で開催されます。名前のとおり会場周辺に広がる約4.2haの畑には、約25万本のひまわりが咲き誇り、ひまわり畑ではひまわり迷路などのイベントも開催されます。また、総合公園敷地内には様々な出店やイベント会場が設置され、まつりの終わりにはグラウンドで花火大会が開催されます。

#### **- 八重桜まつり**

静峰ふるさと公園の八重桜の開花に合わせて4月下旬から5月の連休にかけて盛大に開催されます。まつり期間中には、水上ステージの各種イベントやライトアップされた夜桜鑑賞、また、灯ろうによる公園全体のライトアップなど、さまざまな催しが開かれます。

#### **- 菅谷鹿島神社の大助まつり**

別名提灯（ちょうちん）祭といわれ、現在では3年に一度、8月15日に行なわれています。100年以上の伝統を誇り、数百に上る提灯に彩られた9台の山車が鹿島神社に繰り込む姿はまさに勇壮です。

## 《自然・公園》

### - 那珂総合公園

市民のふれあいの新拠点として平成6年に完成しました。野球場、体育館、温水プール、テニスコート・多目的運動場などがあり、人とスポーツに出会う総合公園です。

公園内には、故郷の息づかいが聞こえてくる歴史民俗資料館もあり、古代、中世、近世にわたり那珂市に関わる資料が展示されています。

### - 一の関ため池親水公園

市庁舎の前にある一の関ため池親水公園は、市のほぼ中央に位置し、春にはアカシヤの若葉が一斉に芽吹き、夏には家族連れが水辺で遊び、秋には群生する萩の花が風に踊り、冬には多くの水鳥が飛来する四季を通じての市民のオアシスとして親しまれています。

越冬のため飛来してくる「冬の使者 白鳥」は、昭和59年に初めて飛来して以来、毎年その姿を市民に見せてくれます。最多飛来数は平成12年の166羽です。

那珂市曲がり屋は、文久2年（1862年）に那珂市戸崎に建てられた農家です。旧那珂町に残された最後の曲がり屋ということで、市が保存することになり平成11年9月移築・復元されました。曲がり屋には、「囲炉裏」や「かまど」・「土間台所」もあります。

### - 静峰ふるさと公園

静峰ふるさと公園は、「日本のさくら名所100選」に選ばれた八重桜の名所です。

12haの園内には、約2,100本の八重桜と200本のソメイヨシノが咲き誇ります。

また、四季折々に咲く、梅、ツツジ、あじさいなどが彩りを添えて、家族連れや観光客で賑わいを見せています。

#### 『主なさくらの品種』

天の川、一葉、ウコン、大島桜、寒緋桜、関山、菊桜、枝垂桜、松月、染井吉野、普賢象、紅枝垂などが植栽されています。

### - 古徳沼

この沼には毎年、「冬の使者」白鳥が遠くシベリアからやってきます。昭和41年には、たった2羽でしたが、その後、飛来数は増加し現在では100前後の白鳥が飛来します。一の関ため池親水公園とともに白鳥の越冬地となっています。

### - しどりの湯保養センター

静峰ふるさと公園に隣接しており、大浴槽の他、健康トレーニング室、カラオケ室が完備されており、大広間では食事もできます。

### - 歴史民俗資料館

那珂市は、那珂川・久慈川という大きな川の間を開けた暮らしやすい土地です。そのため、先人たちの生活の舞台となってきました。その証として、市内には古代の集落跡、古墳群、城館跡等が数多く残されています。

歴史民俗資料館では、那珂市文化財を保存し広める立場から、各時代ごとのテーマにあわせて、100点を越える展示を致しております。市内より出土した土器類をはじめ、額田城跡復元模型、大助祭の山車、また那珂市ゆかりの民俗工芸など多岐に渡ります。

また、土器片に実際に触れてみる「触ってみようコーナー」や、ベーゴマ・けん玉・メンコなど昔懐かしいおもちゃで遊べる「昔のおもちゃで遊んでみよう・体験コーナー」、那珂市で使われていた農機具や民具を紹介する「昔の道具」コーナーなどを設けています。

#### **- 茨城県植物園**

植物の知識が学べる憩いの場として、昭和56年に開園。約600種、約5万本の植物が、四季折々に訪れる人たちの目を楽しませてくれます。

噴水のある美しい沈庄園、回遊式庭園の岩石園、色々な動物をかたどった植物造形園、たくさんの種類を集めたカエデ園、バラ園、ボタン園、ツバキ園などの施設のほか、気軽に休める広々とした芝生広場あります。

#### **- 熱帯植物館**

茨城県植物園敷地内にあり、東南アジアの熱帯・亜熱帯に生息する植物、約240種、約23,000本を集め、四季を通して観察・学習できる施設として作られました。

館内は、畑地・沼地・ジャングル・丘陵地ゾーンに区分され、バナナ・パパイヤなどの果樹、カジュマル、アコウなどの熱帯樹林が見られます。

展望室からの眺望、映像での熱帯雨林の画像も楽しむことができます。

#### **- きのこ博士館**

たくさんの「きのこ」や「植物」たちがつくる『不思議なふしぎな森の世界』。

その秘密を説き明かしてくれる「茨城県きのこ博士館」。

きのこ博士館は茨城県植物園に隣接しており、きのこや山菜、うるし、竹などの種類や形態はもちろん、人との係わりから森林の役割まで、楽しみながら学べる施設として平成10年に開館しました。

幻想的な雰囲気を楽しめる館内には、8つの展示室があり、映像や模型などで「きのこ」についてわかりやすく展示してあるほか、休憩コーナーや特産林産物の実物展示・お土産コーナーもあります。

#### **- 鳥獣センター**

野生の鳥や動物たちに対する知識を深め、さらに自然を愛する豊かな心を育てていただくために造られました。

さまざまな野鳥のほか、マクジャク、インドクジャクなどの鳥類も飼育されており、これらの美しい姿を楽しむことができます。

また、特徴のひとつに、傷ついたり弱ったりしている野鳥を保護し、手当をする教護きん舎を設け、回復後は自然に帰しています。

#### **- 森のカルチャーセンター**

森のカルチャーセンターは鳥獣センター敷地内にあり、森のすばらしさを理解していただき、木造建築物の普及・促進を図るため平成2年に開館しました。建物のフォルムは「森の中で羽を休めている鳥」をイメージして設計され、すべて県内の木材を使用して造られています。森林、林業、野生鳥獣、木製玩具など、木材に関するさまざまな展示コーナーが設けてありますので、自然とふれあい、木と親しんでいただけます。

## 1-4 那珂市のデータ

# な か し 那 珂 市

所在地	茨城県那珂市福田1819番地5
郵便番号	311-0192
電話番号	029-298-1111 (代表)
位置	北緯36度27分14秒81、東経140度29分23秒85
標高	32.36メートル
交通機関	(鉄道) JR水郡線上菅谷駅から徒歩10分 (車) 常磐自動車道那珂I.C.から車で5分
市制施行日	平成17年1月21日
面積	97.8平方キロメートル
人口・世帯	人口 56,493人 世帯数 20,017世帯 65歳以上の人口比率 21.4% (平成19年4月1日現在、住民基本台帳による)
財政規模	一般会計当初予算 17,000,000千円 特別会計当初予算 15,266,200千円
財政力指数	0.645 (平成17年度)
生活環境	上水道普及率 98.1% (平成17年4月1日現在) 公共下水道処理区域内人口 22,613人 公共下水道処理人口普及率 40.0% 市道実延長 1,154km 道路改良率(市道) 20.7% 道路舗装率(市道) 46.1% (以上平成18年4月1日現在) 農業集落排水計画処理人口(5地区) (平成19年4月1日現在) ・戸崎地区1,550人・西木倉地区950人・門部地区760人 ・神崎額田地区2,950人・戸多北部地区1,000人
執行機関	市長 小宅近昭 (平成19年2月13日～平成23年2月12日) 副市長 寺門義一 (平成19年4月1日～平成23年3月31日)
議会	議長 會澤明、副議長 岩上昌和 (任期平成18年3月6日～) 議員定数38人 (任期平成16年3月10日～平成20年3月9日)
職員数	510人 (一般行政職290人) (平成19年4月1日現在)
祭り・イベント	八重桜まつり (4月)、なかひまわりフェスティバル (8月)
姉妹都市	オークリッジ市 (アメリカ合衆国テネシー州) 国際親善姉妹都市盟約 (1990年10月29日締結)
友好都市	横手市 (秋田県) (平成16年10月締結)

## ◆地勢・歴史

那珂市は、東京から北東へ約100km余り、茨城県の中央よりやや北よりに位置し、東側は原子力の東海村、工業都市の日立市、ひたちなか市に、南側は県都水戸市に、西側は城里町、北側は常陸大宮市、常陸太田市にそれぞれ接している。

地形は、久慈川と那珂川の沿岸に拓けた水田地帯とこの両一級河川には含まれたほとんど平坦な那珂台地からなっている。

昭和30年3月31日に神崎村、額田村、菅谷町、五台村、戸多村、芳野村、木崎村の1町6村が合併して、新しく那珂町として誕生し、同年、瓜連町と静村のうち、静、下大賀が合併して新町瓜連町が誕生した。これら両町が平成17年1月21日に合併し、人口約5万6千人、面積97.8平方キロメートルの「那珂市」が誕生した。

市の総面積のうちの大半は農地として利用されているが、昭和59年3月に常磐自動車道那珂インターチェンジの開通等により、大中型店舗の出店や企業の立地に伴い、新たな産業の展開がみられるようになってきた。

また、平成2年10月には、テネシー州オークリッジ市との間に姉妹都市を結び、平成16年10月には、秋田県横手市と友好都市を結ぶなど、国際的・広域的視野に立ったまちづくりを進めてきた。

## ◆交通

市の中央部を常磐自動車道がはしり、インターチェンジが市のほぼ中心に位置している。那珂インターは、奥久慈地方などの県北山間地域とひたちなか市や東海村の県北臨海地域へのアクセスポイン

トとしての機能を果たしている。

水戸市と結ぶ一般国道は、市をほぼ南北に縦断する国道6号、349号、118号がある。

鉄道は、水戸市と常陸太田市・郡山市を結ぶJR水郡線があり、市内には上菅谷駅など9つの駅がある。

東京までの所要時間は、常磐自動車道を利用した場合、約1時間30分、JR水郡線・常磐線を利用した場合、上菅谷から約2時間である。

## ◆産業・経済

### 《農業》

平坦な那珂台地の畑作地帯と那珂川・久慈川沿岸の水田地帯に拓けた農地の総面積は約2,540ヘクタール、農家戸数は約2,196戸である。主な生産物は、米、ごぼう、ばれいしょ、さつまいも、麦等であるが、今後は高速道路の機能を生かした新しい都市近郊型農業の展開が期待されている。

### 《工業》

平成7年に分譲を開始した那珂西部工業団地は、平成12年に4社が操業を開始しており、残りの区画に関しても引き続き優良企業の誘致を推進していく。また、既存の工業系用途である向山工業専用地域等の未利用地についても企業の早期誘致を推進する。又、寄居の工業地域については、複合的な土地利用を図る。

### 《商業》

近年国道349号沿いに市外資本による大・中型店が相次いで出店したことにより、市民の利便性は向上したが、主要地方道瓜連馬渡線沿いの地元商店街をいかに活性化するかが課題となっている。

## ◆文化・観光

### 《菅谷鹿島神社の大助祭》

別名ちょうちん祭といわれ、菅谷地区の町内から9台の山車がでる。昔から近郷に知られた珍しい祭りであるが、現在では3年に一度、8月15日に行なわれている。

### 《一関ため池親水公園》

菅谷地区の住宅街と市役所庁舎の間にある。もとは農業用のため池であったが、新庁舎移転にあわせて公園として整備した。平成18年にも最多飛来数90羽の白鳥が飛来し、越冬した。毎日多くの市民が餌を持って訪れ、市民に最も親しまれる公園の一つである。また公園内には「曲がり屋」が移築復元されている。

### 《県民の森》

明治100年を記念して造られた県民の森は、広さ65haの自然林の中で野鳥のさえずりと四季の花に囲まれて、散策を楽しむことができる。

### 《鳥獣センター》

各種の展示きん舎のほか、救護きん舎、繁殖施設、はく製展示館などがあり、鳥獣の生態にふれることができる。

### 《植物園》

12haの敷地に花木園、野草園、バラ園など約600種5万本の植栽のほか、日本庭園、岩石庭園などが設けられている。平成6年11月には、東南アジアの熱帯雨林をテーマにした大温室「熱帯植物館」がオープンした。

### 《きのこ博士館》

平成10年に開館した館内には、8つ

の展示室があり、きのこや山菜等の種類や生態、森の役割等を楽しみながら学ぶことができる。

### 《静峰ふるさと公園》

日本のさくら100選に選ばれた八重桜の名所である。12haの広々とした園内には、約2,100本の八重桜と200本のソメイヨシノが咲き誇り、まさに絶景である。休日には家族連やハイカーの姿が絶えない。

### 《古徳沼》

この沼には毎年、冬の使者白鳥が遠くシベリアからやってくる。昭和41年には、たった2羽だったが、年々飛来数は増加し平成18年には最多飛来数126羽が観測された。一関ため池親水公園とともに白鳥の越冬地となっている。

## 1-5 主な公共施設

### 主な公共施設の概要

#### 教育・文化施設

図書館	1 (市立)
幼稚園	11 (市立8, 私立3)
小学校	11
中学校	5
学校給食センター	2
高等学校	2 (県立2)
短期大学	1 (私立1)
中央公民館	
歴史民俗資料館	
都市公園	8
ふれあいセンターよしの	
ふれあいセンターよこぼり	
平野コミュニティセンター	
笠松運動公園	(県)

#### 社会福祉・医療施設

保育所(園)	6 (市立2, 私立4)
総合保健福祉センター「ひだまり」	
総合センターらぼーる	
病院	5
居宅介護支援(ケアマネジメント)	12
訪問介護(介護予防訪問介護)	8
訪問入浴介護(介護予防訪問入浴介護)	1
訪問看護(介護予防訪問看護)	3
通所介護・介護予防通所介護 (デイサービス)	5
通所リハビリテーション・介護予防通所 リハビリテーション(デイケア)	4
短期入所生活介護	3
短期入所療養介護	4

#### 認知症対応型通所介護

(介護予防認知症対応型通所介護)	2
認知症対応型共同生活介護	
介護予防認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	4
福祉用具貸与(介護予防福祉用具貸与)	6
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3
介護老人保健施設(老人保健施設)	2
介護療養型医療施設(療養病床等)	3

#### 生活関連施設

市営住宅	327戸
市営公園墓地(福ヶ平霊園、瓜連富士霊園)	
那珂聖苑	
余暇活用施設しどりの湯保養センター	
大宮地方環境整備組合環境センター	

#### その他の施設

日本原子力研究開発機構那珂核融合研究所	
警察署	1
消防本部	1
消防署	2
郵便局	13 (普通1、特定12)
鉄道駅(JR水郡線)	9
林業試験場	(県1)
水道事務所	(県1)
植物園	(県1)
県民の森	(県1)
鳥獣センター	(県1)
きのこ博士館	(県1)
熱帯植物館	(県1)

## 主な社会教育、社会体育施設及び文化施設の概要

施設名	施設の内容	所在地
那珂総合公園	アリーナ・サブアリーナ・温水プール（25m）・テニスコート（6面）・多目的広場（ソフトボール4面）・野球場（1面）・会議室（約70名収容）	戸崎428-2
神崎運動公園	ソフトボール場（1面）・テニスコート（4面）	横堀1721
宮の池公園	多目的広場	菅谷3012
一の関ため池親水公園	白鳥越冬地, 曲がり屋	
中谷原公園	遊具4基・テニスコート（2面） 多目的広場	戸6000
ふれあいの杜公園	多目的広場（ソフトボール・野球）テニスコート（2面）・芝生広場（サッカー）	中里1246
瓜連体育館	アリーナ・サブアリーナ（卓球室）会議室	古徳310
瓜連グラウンド	野球場（サッカー）・夜間照明施設	瓜連323
瓜連テニスコート	テニスコート（2面）	瓜連287-1
中央公民館	会議室（大・小・和室）・学習室・講座室・視聴覚室・調理室・美術室・集会ホール（定員500人）	福田1819-5
総合センターらぼーる	多目的ホール・教養娯楽室・研修室・視聴覚室・栄養指導室・控え室（和・洋）・機能回復室	古徳371
ふれあいセンターよしの	集会ホール・実習室・会議室・研修室・和室	飯田307-1
平野コミュニティセンター	大会議室・小会議室・和室・調理室	平野1800-333
ふれあいセンターよこぼり	多目的室・会議室・調理室・和室・図書コーナー	横堀1526-1
歴史民族資料館	展示室・多目的室・収蔵庫・特別収蔵庫	戸崎428-2
市立図書館	会議室・多目的室・一般開架・児童開架・喫茶コーナー・展示コーナー・ボランティア室・対面朗読室	菅谷2995-1

## 2-1 人口・世帯数の推移

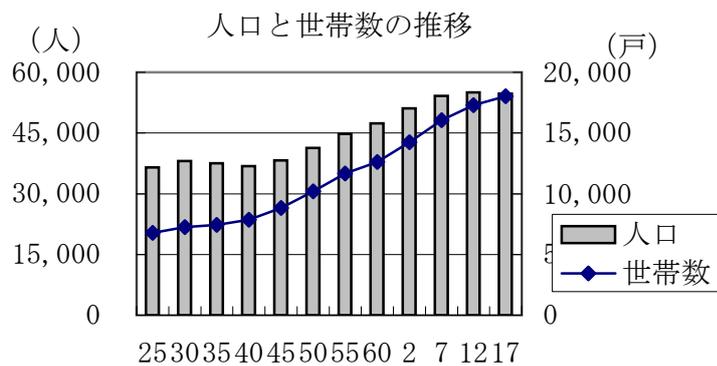
各年10月1日現在、単位：世帯、人、k m<sup>2</sup>

年次	世帯数	人口			1世帯当 たり 平均人口	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口密度 (1 k m <sup>2</sup> 当たり)	備考
		総数	男	女				
○ 昭和 25 年	6,778	36,484	17,814	18,670	5.4	91.90	397.0	
○ 30	7,243	38,113	19,568	18,545	5.3	97.74	389.9	
○ 35	7,437	37,544	18,440	19,104	5.0	97.68	384.4	
○ 40	7,845	36,838	17,848	18,990	4.7	97.71	377.0	
○ 45	8,823	38,256	18,701	19,555	4.3	97.71	391.5	
○ 50	10,188	41,330	20,118	21,212	4.1	97.72	422.9	
○ 55	11,663	44,768	21,887	22,881	3.8	97.72	458.1	
○ 60	12,607	47,388	23,248	24,140	3.8	97.72	484.9	
○ 2	14,246	51,078	24,936	26,142	3.6	97.80	522.3	
○ 平成 7 年	16,050	54,178	26,449	27,729	3.4	97.80	554.0	
10	16,972	54,875	26,824	28,051	3.2	97.80	561.1	
11	17,296	55,102	26,941	28,161	3.2	97.80	563.4	
○ 12	17,289	55,069	26,887	28,182	3.2	97.80	563.1	
13	17,602	55,356	27,054	28,302	3.1	97.80	566.0	
14	17,855	55,484	27,070	28,414	3.1	97.80	567.3	
15	18,104	55,387	27,035	28,352	3.1	97.80	566.3	
16	18,351	55,456	27,083	28,373	3.0	97.80	567.0	
○ 17	18,034	54,705	26,748	27,957	3.0	97.80	559.4	
18	18,366	54,614	26,691	27,923	3.0	97.80	558.4	

資料：○印は国勢調査、それ以外は茨城県常住人口調査。面積は国土地理院の全国都道府県市区町村別面積調。

(注) 平成17年以前は旧町の合計値。

昭和25年は那珂町の旧7町村と瓜連町の合計。なお静村は含まない。



## 2-2 大字別人口・世帯数

平成19年4月1日現在、単位：人

大字名	世帯数	合計	男	女	平均世帯員数	H14. 4. 1 現在人口	人口増加率 (H14~19)
本米崎	411	1,220	609	611	3.0	1,252	0.97
向山	219	670	331	339	3.1	691	0.97
横堀	445	1,363	676	687	3.1	1,384	0.98
堤	234	688	344	344	2.9	698	0.99
杉	545	1,643	794	849	3.0	1,591	1.03
<b>神崎地区計</b>	<b>1,854</b>	<b>5,584</b>	<b>2,754</b>	<b>2,830</b>	<b>3.0</b>	<b>5,616</b>	<b>0.99</b>
額田東郷	225	699	337	362	3.1	714	0.98
額田南郷	746	2,135	1,069	1,066	2.9	2,110	1.01
額田北郷	435	1,300	659	641	3.0	1,372	0.95
<b>額田地区計</b>	<b>1,406</b>	<b>4,134</b>	<b>2,065</b>	<b>2,069</b>	<b>2.9</b>	<b>4,196</b>	<b>0.99</b>
菅谷	6,677	18,071	9,015	9,056	2.7	17,274	1.05
福田	515	1,459	720	739	2.8	1,463	1.00
<b>菅谷地区計</b>	<b>7,192</b>	<b>19,530</b>	<b>9,735</b>	<b>9,795</b>	<b>2.7</b>	<b>18,737</b>	<b>1.04</b>
後台	1,453	3,986	1,945	2,041	2.7	3,930	1.01
中台	811	2,176	1,069	1,107	2.7	2,203	0.99
東木倉	252	716	368	348	2.8	753	0.95
西木倉	173	484	237	247	2.8	502	0.96
豊喰	246	716	342	374	2.9	739	0.97
津田	146	375	188	187	2.6	413	0.91
上河内	0	0	0	0	-	0	0.00
<b>五台地区計</b>	<b>3,081</b>	<b>8,453</b>	<b>4,149</b>	<b>4,304</b>	<b>2.7</b>	<b>8,540</b>	<b>0.99</b>
戸	426	1,325	662	663	3.1	1,416	0.94
田崎	89	290	143	147	3.3	279	1.04
大内	61	157	81	76	2.6	164	0.96
下江戸	107	332	160	172	3.1	369	0.90
上国井	0	0	0	0	-	1	0.00
<b>戸多地区計</b>	<b>683</b>	<b>2,104</b>	<b>1,046</b>	<b>1,058</b>	<b>3.1</b>	<b>2,229</b>	<b>0.94</b>
飯田	681	2,058	1,024	1,034	3.0	2,072	0.99
鴻巣	663	1,972	964	1,008	3.0	1,982	0.99
戸崎	376	1,067	537	530	2.8	1,047	1.02
<b>芳野地区計</b>	<b>1,720</b>	<b>5,097</b>	<b>2,525</b>	<b>2,572</b>	<b>3.0</b>	<b>5,101</b>	<b>1.00</b>
鹿島	63	214	103	111	3.4	219	0.98
門部	396	1,177	575	602	3.0	1,240	0.95
北酒出	111	344	173	171	3.1	351	0.98
南酒出	337	965	484	481	2.9	970	0.99
<b>木崎地区計</b>	<b>907</b>	<b>2,700</b>	<b>1,335</b>	<b>1,365</b>	<b>3.0</b>	<b>2,780</b>	<b>0.97</b>
静	167	527	247	280	3.2	516	1.02
下大賀	288	901	439	462	3.1	1,002	0.90
瓜連	1,022	3,027	1,479	1,548	3.0	2,982	1.02
中里	653	1,181	525	656	1.8	1,232	0.96
古徳	240	740	357	383	3.1	758	0.98
鹿島	96	305	138	167	3.2	326	0.94
平野	708	2,210	1,087	1,123	3.1	2,210	1.00
<b>瓜連地区計</b>	<b>3,174</b>	<b>8,891</b>	<b>4,272</b>	<b>4,619</b>	<b>2.8</b>	<b>9,026</b>	<b>0.99</b>
<b>合計</b>	<b>20,017</b>	<b>56,493</b>	<b>27,881</b>	<b>28,612</b>	<b>2.8</b>	<b>56,225</b>	<b>1.00</b>

資料：住民基本台帳

### 2-3 年齢別人口(5歳階級)

各年4月1日現在

区分 年齢	平成19年			平成18年			増減数		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	56,493	27,881	28,612	56,528	27,912	28,616	△ 35	△ 31	△ 4
0～4	2,259	1,201	1,058	2,278	1,213	1,065	△ 19	△ 12	△ 7
5～9	2,611	1,361	1,250	2,580	1,341	1,239	31	20	11
10～14	2,785	1,498	1,287	2,837	1,506	1,331	△ 52	△ 8	△ 44
15～19	3,107	1,570	1,537	3,236	1,627	1,609	△ 129	△ 57	△ 72
20～24	3,174	1,562	1,612	3,231	1,600	1,631	△ 57	△ 38	△ 19
25～29	3,203	1,583	1,620	3,269	1,642	1,627	△ 66	△ 59	△ 7
30～34	3,691	1,873	1,818	3,721	1,875	1,846	△ 30	△ 2	△ 28
35～39	3,672	1,914	1,758	3,483	1,801	1,682	189	113	76
40～44	3,288	1,625	1,663	3,362	1,665	1,697	△ 74	△ 40	△ 34
45～49	3,543	1,792	1,751	3,657	1,830	1,827	△ 114	△ 38	△ 76
50～54	4,175	2,098	2,077	4,336	2,193	2,143	△ 161	△ 95	△ 66
55～59	5,058	2,533	2,525	4,961	2,516	2,445	97	17	80
60～64	3,828	1,947	1,881	3,839	1,945	1,894	△ 11	2	△ 13
65～69	3,343	1,706	1,637	3,179	1,625	1,554	164	81	83
70～74	2,921	1,391	1,530	2,910	1,378	1,532	11	13	△ 2
75～79	2,451	1,038	1,413	2,463	1,051	1,412	△ 12	△ 13	1
80以上	3,384	1,189	2,195	3,186	1,104	2,082	198	85	113
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(再掲)									
0歳	435	217	218	407	208	199	28	9	19
1歳	425	213	212	449	253	196	△ 24	△ 40	16
2歳	458	263	195	469	257	212	△ 11	6	△ 17
3歳	480	263	217	445	230	215	35	33	2
4歳	461	245	216	508	265	243	△ 47	△ 20	△ 27
5歳	508	267	241	514	268	246	△ 6	△ 1	△ 5
6歳	530	279	251	551	286	265	△ 21	△ 7	△ 14
15歳未満	7,655	4,060	3,595	7,695	4,060	3,635	△ 40	0	△ 40
15～64歳	36,739	18,497	18,242	37,095	18,694	18,401	△ 356	△ 197	△ 159
65歳以上	12,099	5,324	6,775	11,738	5,158	6,580	361	166	195
65～74歳	6,264	3,097	3,167	6,089	3,003	3,086	175	94	81
75歳以上	5,835	2,227	3,608	5,649	2,155	3,494	186	72	114
年齢別割合 (%)									
15歳未満	13.6%	14.6%	12.6%	13.6%	14.5%	12.7%	△ 0.1%	0.0%	△ 0.1%
15～64歳	65.0%	66.3%	63.8%	65.6%	67.0%	64.3%	△ 0.6%	△ 0.6%	△ 0.5%
65歳以上	21.4%	19.1%	23.7%	20.8%	18.5%	23.0%	0.7%	0.6%	0.7%
65～74歳	11.1%	11.1%	11.1%	10.8%	10.8%	10.8%	0.3%	0.3%	0.3%
75歳以上	10.3%	8.0%	12.6%	10.0%	7.7%	12.2%	0.3%	0.3%	0.4%

資料：住民基本台帳

## 2-4 年齢別人口(大字別、3区分)

平成19年4月1日現在

大字名	3区分別人口			3区分別人口割合			人口(再掲)	
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	0～6歳	75歳以上
総数	7,655	36,739	12,099	14%	65%	21%	3,297	5,835
本米崎	134	732	354	11%	60%	29%	50	185
向山	88	417	165	13%	62%	25%	20	81
横堀	138	903	322	10%	66%	24%	50	170
堤	92	448	148	13%	65%	22%	37	65
杉	211	1,171	261	13%	71%	16%	106	112
額田東郷	87	421	191	12%	60%	27%	28	91
額田南郷	268	1,389	478	13%	65%	22%	108	226
額田北郷	189	800	311	15%	62%	24%	65	162
菅谷	2,985	12,323	2,763	17%	68%	15%	1,495	1,050
福田	183	926	350	13%	63%	24%	65	152
後台	560	2,489	937	14%	62%	24%	211	442
中台	268	1,429	479	12%	66%	22%	135	213
東木倉	97	470	149	14%	66%	21%	42	78
西木倉	45	303	136	9%	63%	28%	20	70
豊喰	78	456	182	11%	64%	25%	30	79
津田	43	251	81	11%	67%	22%	19	35
戸・上国井	136	818	371	10%	62%	28%	47	224
田崎	39	176	75	13%	61%	26%	11	42
大内	8	96	53	5%	61%	34%	3	32
下江戸	28	195	109	8%	59%	33%	8	64
飯田	228	1,316	514	11%	64%	25%	89	271
鴻巣	290	1,217	465	15%	62%	24%	126	248
戸崎	130	668	269	12%	63%	25%	39	150
鹿島	27	129	58	13%	60%	27%	12	30
門部	136	699	342	12%	59%	29%	54	186
北酒出	47	199	98	14%	58%	28%	12	55
南酒出	96	595	274	10%	62%	28%	48	145
静	61	304	162	12%	58%	31%	22	94
下大賀	111	534	256	12%	59%	28%	31	134
瓜連	400	1,883	744	13%	62%	25%	155	379
古徳	89	470	181	12%	64%	24%	32	92
中里	87	551	543	7%	47%	46%	33	359
鹿島	30	204	71	10%	67%	23%	13	37
平野	246	1,757	207	11%	80%	9%	81	82

資料：住民基本台帳

## 2-5 家族類型別の一般世帯数、世帯人員

各年10月1日現在

			平成17年		平成12年	
			一般世帯数	人員	一般世帯数	人員
総数			17,994	53,397	17,257	53,845
親族世帯	核家族世帯	夫婦のみ	3,978	7,962	3,448	6,900
		夫婦と子供	6,776	24,610	6,968	25,620
		男親と子供	261	610	220	523
		女親と子供	1,194	2,859	1,021	2,424
	親族の世帯の	夫婦と親	543	1,776	494	1,621
		夫婦、子供と親 その他	1,741	8,994	2,026	10,765
非親族世帯			53	108	47	95
単独世帯			2,613	2,613	2,267	2,267

(再掲) 母子世帯、父子世帯数・人員

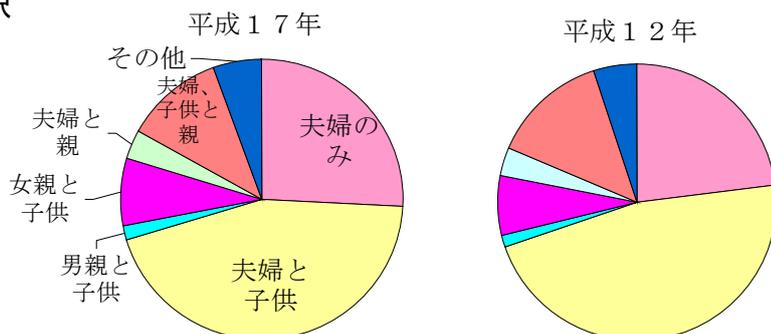
	平成17年		平成12年	
母子世帯数及び人員	184	488	147	389
父子世帯数及び人員	42	115	24	65

(再掲) 6歳、18歳未満の親族のいる一般世帯数

			平成17年		平成12年	
			6歳未満	18歳未満	6歳未満	18歳未満
総数			2,100	5,485	2,114	5,931
親族世帯	核家族世帯	夫婦のみ	-	-	-	-
		夫婦と子供	1,522	3,596	1,506	3,836
		男親と子供	7	47	2	39
		女親と子供	65	287	50	255
	親族の世帯の	夫婦と親	-	-	-	-
		夫婦、子供と親 その他	312	1,084	373	1,364
非親族世帯			-	-	-	-
単独世帯			-	1	-	1

資料：国勢調査

### 親族世帯の内訳



## 2-6 産業分類別就業人口(15歳以上)

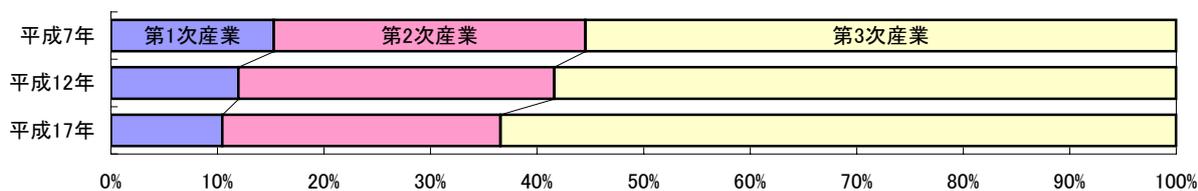
各年10月1日現在

	平成17年	平成12年	平成7年
総数(「分類不能」を含む)	27,612	28,570	28,710
第1次産業	2,853	3,385	4,380
農業	2,836	3,377	4,354
林業	16	6	24
漁業	1	2	2
第2次産業	7,130	8,395	8,394
鉱業	4	1	17
建設業	2,456	2,819	2,736
製造業	4,670	5,575	5,641
第3次産業	17,302	16,522	15,894
電気・ガス・熱供給・水道業	191	198	166
(情報通信業)	635	...	...
(運輸業)	1,087	...	...
運輸・通信	...	1,558	1,469
(卸売・小売)	4,440	...	...
卸売・小売・飲食店	...	5,535	5,362
金融・保険業	700	849	850
不動産業	160	156	124
(飲食店, 宿泊業)	1,059	...	...
(医療, 福祉)	2,256	...	...
(教育, 学習支援業)	1,265	...	...
(複合サービス業)	353	...	...
(サービス業(他に分類されないもの))	3,934	...	...
サービス業	...	7,067	6,676
公務・他	1,222	1,159	1,247
分類不能	327	268	42
構成比			
第1次産業	10%	12%	15%
第2次産業	26%	29%	29%
第3次産業	63%	58%	55%

(注) 平成17年から産業分類が変更され、網掛けの区分が新設された。

資料：国勢調査

産業別就業人口



## 2-7 住居の種類・住宅の所有の関係別一般世帯数、人員、延べ面積

### 世帯数

各年10月1日現在、単位：世帯

	住宅に住む一般世帯	主世帯					間借り	住宅以外に住む一般世帯
		持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅			
平成17年	17,939	17,746	14,991	312	2,291	152	193	55
平成12年	17,163	17,027	14,334	316	2,187	190	136	94

### 人員

単位：人

	住宅に住む一般世帯	主世帯					間借り	住宅以外に住む一般世帯
		持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅			
平成17年	53,292	52,799	46,257	844	5,377	321	493	105
平成12年	53,704	53,374	46,941	867	5,163	403	330	141

### 延べ面積

単位：㎡

	住宅に住む一般世帯	主世帯					間借り	住宅以外に住む一般世帯
		持ち家	公営・都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅			
1世帯当たり								
平成17年	114.4	115.1	127.1	55.2	48.4	64.7	51.4	...
平成12年	114.5	115.0	127.1	64.4	46.1	72.7	50.6	...
1人当たり								
平成17年	38.5	38.7	41.2	20.4	20.6	30.7	20.1	...
平成12年	36.6	36.7	38.8	23.5	19.5	34.3	20.9	...

資料：国勢調査

住宅以外に住む一般世帯…寄宿舍・寮など生計を共にしない単身者の集まりを居住させるための建物や病院、学校、旅館、会社、工場、事務所などの居住用でない建物。仮小屋、天幕小屋など応急的に作られた住居も含む。

## 2-8 外国人登録者数

各年4月1日現在

	平成19年	平成18年	平成17年
<b>男女別人数</b>			
計	218	229	245
男	94	107	112
女	124	122	133
<b>国籍別人数</b>			
総数	218	229	245
中国	60	50	54
韓国・北朝鮮	52	48	49
フィリピン	41	45	48
タイ	16	18	18
ロシア	5	13	13
カナダ	1	2	3
アメリカ合衆国	3	4	3
ブラジル	5	4	8
イタリア	0	4	5
イギリス	5	9	11
その他	30	32	33

資料：市民課資料「外国人登録人員調査」

2-9 自然動態(出生・死亡)

各年1月1日～12月31日

		平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年
出生	計	398	473	409	472	442
	男	209	263	210	236	225
	女	189	210	199	236	217
死亡	計	544	498	476	458	426
	男	286	290	245	251	241
	女	258	208	231	207	185
母親の年齢階級別出生者数	総数	-	467	411	473	-
	15～19	-	9	8	8	-
	20～24	-	68	59	79	-
	25～29	-	160	153	176	-
	30～34	-	163	152	165	-
	35～39	-	61	35	40	-
	40～44	-	5	4	5	-
	45～49	-	1	-	-	-
	50～54	-	-	-	-	-
	55～59	-	-	-	-	-
年齢階級別死亡者数	総数	544	498	476	458	426
	0～4	-	3	1	-	5
	5～9	1	2	-	-	1
	10～14	1	1	1	-	-
	15～19	3	-	1	-	2
	20～24	3	1	3	-	1
	25～29	3	3	4	3	2
	30～34	2	4	3	2	1
	35～39	5	3	2	6	2
	40～44	3	5	2	-	8
	45～49	7	6	10	6	11
	50～54	11	20	14	-	16
	55～59	15	14	14	27	28
	60～64	19	19	22	30	27
	65～69	35	41	34	40	27
	70～74	54	54	59	55	45
	75～79	89	73	75	59	49
	80～84	99	75	80	67	77
	85～89	96	79	76	80	67
	90～95	74	61	50	50	44
95～99	22	28	23	13	…	
100～ 年齢不詳	2 -	5 -	2 -	4 -	※1 13 -	
出生・ 死亡率等	普通出生率	7.2	8.5	7.4	8.5	8.0
	合計特殊 出生率	…	1.36	1.19	1.35	1.26
	死亡率	9.8	9.0	8.6	8.3	7.7

資料：母親の年齢階級別出生者数は茨城県保健福祉統計年報、その他は茨城県常住人口調査および市資料

※1 95歳以上の死亡者数です。

2-10 社会動態(転入・転出)(地域別)

平成17年1月21日～平成17年12月31日

従前の住所地別転入者数				転出先の住所地別転出者数			
県外計	472	県内計	1,349	県外計	588	県内計	1,197
北海道	6	水戸市	334	北海道	8	水戸市	314
青森県	5	日立市	121	青森県	9	日立市	55
岩手県	2	土浦市	33	岩手県	3	土浦市	19
宮城県	6	古河市	12	宮城県	10	古河市	5
秋田県	3	石岡市	15	秋田県	0	石岡市	9
山形県	1	結城市	1	山形県	2	結城市	1
福島県	17	龍ヶ崎市	7	福島県	24	龍ヶ崎市	13
栃木県	25	下妻市	0	栃木県	21	下妻市	2
群馬県	6	常総市	3	群馬県	9	常総市	2
埼玉県	36	常陸太田市	110	埼玉県	54	常陸太田市	108
千葉県	63	高萩市	23	千葉県	70	高萩市	7
東京都	113	北茨城市	15	東京都	128	北茨城市	2
神奈川県	54	笠間市	22	神奈川県	62	笠間市	41
新潟県	4	取手市	4	新潟県	5	取手市	10
富山県	4	坂東市	0	富山県	5	坂東市	8
石川県	1	牛久市	6	石川県	2	牛久市	10
福井県	0	つくば市	21	福井県	0	つくば市	33
山梨県	1	ひたちなか市	268	山梨県	3	ひたちなか市	231
長野県	0	鹿嶋市	11	長野県	5	鹿嶋市	8
岐阜県	4	潮来市	3	岐阜県	1	潮来市	1
静岡県	6	守谷市	2	静岡県	9	守谷市	3
愛知県	1	常陸大宮市	131	愛知県	5	常陸大宮市	84
三重県	0	筑西市	13	三重県	0	筑西市	5
滋賀県	1	稲敷市	10	滋賀県	2	稲敷市	2
京都府	5	かすみがうら市	8	京都府	6	かすみがうら市	6
大阪府	3	桜川市	3	大阪府	17	桜川市	2
兵庫県	4	神栖市	5	兵庫県	6	神栖市	6
奈良県	0	行方市	0	奈良県	0	行方市	3
和歌山県	0	銚田市	8	和歌山県	0	銚田市	20
鳥取県	0	つくばみらい市	3	鳥取県	0	つくばみらい市	1
島根県	0	小美玉市	10	島根県	2	小美玉市	11
岡山県	0	茨城町	21	岡山県	1	茨城町	41
広島県	1	大洗町	4	広島県	3	大洗町	5
山口県	0	城里町	20	山口県	1	城里町	33
徳島県	0	東海村	66	徳島県	0	東海村	76
香川県	0	大子町	24	香川県	2	大子町	12
愛媛県	0	美浦町	1	愛媛県	0	美浦町	0
高知県	1	阿見町	3	高知県	0	阿見町	7
福岡県	0	河内町	0	福岡県	3	河内町	0
佐賀県	0	八千代町	1	佐賀県	0	八千代町	0
長崎県	1	五霞町	0	長崎県	1	五霞町	0
熊本県	0	境町	6	熊本県	3	境町	0
大分県	0	利根町	1	大分県	0	利根町	1
宮崎県	0			宮崎県	1		
鹿児島県	1			鹿児島県	2		
沖縄県	2			沖縄県	2		
国外	95			国外	101		
その他	16			その他	28		

※合併期日以降のみの数値です。

資料：茨城県常住人口調査

2-11 社会動態(転入・転出)(年齢別)

平成17年1月21日～平成17年12月31日

年齢階級	転 入			転 出		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1,837	969	868	1,813	938	875
0～4	182	102	80	154	75	79
5～9	76	44	32	63	35	28
10～14	53	28	25	26	13	13
15～19	60	33	27	136	80	56
20～24	266	131	135	337	163	174
25～29	340	163	177	350	163	187
30～34	296	150	146	281	137	144
35～39	167	95	72	135	74	61
40～44	105	71	34	79	58	21
45～49	52	37	15	52	31	21
50～54	55	31	24	56	34	22
55～59	53	34	19	42	30	12
60～64	32	17	15	28	15	13
65～69	14	7	7	11	8	3
70～74	18	8	10	21	9	12
75～79	19	8	11	9	6	3
80～84	19	4	15	10	3	7
85～89	16	4	12	15	4	11
90～94	14	2	12	7	0	7
95～99	0	0	0	1	0	1
100～	0	0	0	0	0	0
年齢不詳	0	0	0	0	0	0

※合併期日以降のみの数値です。

資料：茨城県常住人口調査

## 2-12 年齢階級別配偶関係

平成17年10月1日現在

年齢	男					女				
	総数(1)	未婚	有配偶	死別	離別	総数(1)	未婚	有配偶	死別	離別
総数	22,744	6,541	14,924	751	507	24,360	5,040	15,117	3,371	813
<b>年齢階級別</b>										
15～19	1,529	1,521	8	0	0	1,538	1,526	11	0	1
20～24	1,245	1,144	98	0	3	1,347	1,184	151	0	12
25～29	1,523	1,084	423	0	16	1,592	967	578	2	44
30～34	1,774	793	945	4	32	1,774	529	1,157	3	84
35～39	1,690	534	1,104	5	45	1,628	246	1,297	7	76
40～44	1,615	364	1,189	5	55	1,692	145	1,452	18	76
45～49	1,811	315	1,420	12	61	1,868	79	1,674	42	72
50～54	2,170	304	1,781	22	63	2,161	77	1,898	81	103
55～59	2,353	197	2,023	40	90	2,286	46	1,988	143	107
60～64	1,968	115	1,727	69	55	1,941	51	1,605	202	83
65～69	1,571	70	1,388	73	37	1,532	52	1,138	293	48
70～74	1,374	53	1,190	100	28	1,549	39	1,013	461	34
75～79	1,042	28	869	133	12	1,380	44	695	611	29
80～84	665	10	518	126	8	1,040	34	308	669	26
85～89	302	7	188	105	2	617	15	118	474	9
90～94	95	2	45	48	0	332	6	31	287	7
95～99	16	0	8	8	0	74	0	3	69	2
100歳以上	1	0	0	1	0	9	0	0	9	0
<b>(再掲)</b>										
65歳以上	5,066	170	4,206	594	87	6,533	190	3,306	2,873	155
75歳以上	2,121	47	1,628	421	22	3,452	99	1,155	2,119	73
85歳以上	414	9	241	162	2	1,032	21	152	839	18
平均年齢	49.3	31.3	55.8	74.9	52.5	51.2	27.8	53.2	77.0	51.9

※1 配偶関係「不詳」も含まず。

資料：国勢調査